

授業科目名	保育内容表現 I	担当教員名	池内 恵美
必修/選択	必修	開講学年・学期	2年 通年（年間開講数 2講座）
科目区分	教職・保育に関する科目	単位数	2単位（60時間）
施行規則に定める科目区分等	領域及び保育内容の指導法に関する科目-保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む） 保育の内容・方法の理解に関する科目(別表1/2)	授業方法/担当形態	演習 / 単独
		特記事項	※実務経験のある教員等による授業 ピアノ、声楽指導者として音楽教室を主宰している経験を活かし、音楽の基礎的知識、技能の習得のための指導を行っている。
授業の概要及び全体目標	幼児期の表現活動を支援するための知識・技能を身に付ける。また合奏を通してお互いが協力することの大切さを学び、音が重なり合う美しさを体感することで、保育者として子どもたちに伝えるための表現力を身に付ける。楽器の正しい演奏法、効果的な指導法を身に付ける。		
到達目標	<p>(1)保育内容を理解し、保育の現場での子どもの音楽表現活動を豊かに展開するために必要な知識と技術を習得する。</p> <p>①習得した音楽の知識と技能を実践につなげることができる。 ②保育の現場で取り扱う各種楽器の特性と奏法を理解する。 ③合奏を通して各種楽器の演奏法を習得し、表現することの楽しさを体験しながら保育者としての表現力を身につける。 ④他者との協働作業としての器楽合奏の実践を通して主体的・対話的な学びから保育者としての感性を深める。 ⑤領域ごとに幼児が経験し身に付けていく内容の関連性や小学校の教科等とのつながりを理解している。</p> <p>(2)保育内容の指導方法と保育の構想：幼児の発達や学びの過程を理解し、具体的な指導場面を想定して保育を構想する方法を身に付ける。</p> <p>①幼児の認識・思考、動き等を視野に入れた保育の構想の重要性を理解している。 ②各領域の特性や幼児の体験との関連を考慮した情報機器及び教材の活用法を理解し、保育の構想に活用することができる。 ③指導案の構成を理解し、具体的な保育を想定した指導案を作成することができる。 ④模擬保育とその振り返りを通して、保育を改善する視点を身に付けている。 ⑤各領域の特性に応じた保育実践の動向を知り、保育構想の向上に取り組むことができる。</p>		
テキスト	「3つのコードで楽しく弾ける ピアノ伴奏集」（ドレミ楽譜出版社）、自作プリント		
参考書・参考資料等	「ポケットいっぱいうた」鈴木恵津子・富田英也監修編著(教育芸術社)		
成績評価の方法	○授業内課題1（実技試験）：20% ○授業内課題2（発表）：20% ○授業内課題3（レポート提出、課題シート）：50% ○受講意欲・態度：10%		
授業計画	授業の内容	到達目標番号	
第1回	オリエンテーション（授業のねらいと計画、評価等） 子どもの音楽的表現の発達について 伴奏法①コードネームと簡易伴奏法	(1)-①,(1)-⑤	
第2回	楽器の知識と奏法①-いろいろな楽器を知る 伴奏法②コード進行	(1)-①,(1)-②	
第3回	楽器の知識と奏法②-楽器の特性と奏法 伴奏法③コード伴奏の実践（ハ長調）	(1)-①,(1)-②,(1)-③, (2)-①	
第4回	楽器を用いた活動①-打楽器 打楽器を用いた乳幼児の音楽表現活動について理解する。 伴奏法④コード伴奏の実践（ト長調）	(1)-①,(1)-②,(1)-③, (2)-①,(2)-②	
第5回	楽器を用いた活動②-有音程楽器 有音程楽器を用いた乳幼児の音楽表現活動について理解する。 伴奏法⑤コード伴奏の実践（ハ長調）	(1)-①,(1)-②,(1)-③, (1)-⑤,(2)-①,(2)-②	
第6回	アンサンブルの基礎知識①-年齢別器楽合奏の実践と指導	(1)-①,(1)-④,(1)-⑤, (2)-①	
第7回	アンサンブルの基礎知識②-創造的な音楽づくりの実践としてオルフの音楽教育を取り上げ、その理念と特徴の理解	(1)-①,(1)-④,(1)-⑤, (2)-①	
第8回	音楽表現活動の指導について 乳幼児の音楽表現活動について事例を基に保育案を作成する。	(1)-①,(1)-④,(1)-⑤, (2)-①	
第9回	音楽あそびの実践と検討 表現活動や遊びを広げるための教材研究について考える。	(1)-①,(1)-④,(1)-⑤, (2)-①,(2)-③	
第10回	表現活動の実践としての指導案作成 音楽的なねらいについて理解し、具体的な実践を考える。	(1)-①,(1)-②,(1)-③, (2)-①,(2)-②	
第11回	模擬保育の実践① 3、4歳児の音楽表現活動に関する模擬保育案を作成する。	(1)-①,(1)-②,(1)-③, (1)-④,(2)-①,(2)-②	
第12回	模擬保育の実践② 3、4歳児の音楽表現活動に関する模擬保育案を実践する。	(1)-①,(1)-②,(1)-③, (1)-④,(2)-①,(2)-②, (2)-④	
第13回	模擬保育の実践③ 4、5歳児の音楽表現活動に関する模擬保育案を作成する。	(1)-①,(1)-②,(1)-③, (1)-④,(2)-①,(2)-②	
第14回	模擬保育の実践④ 4、5歳児の音楽表現活動に関する模擬保育案を実践する。	(1)-②,(1)-③,(1)-④, (2)-①,(2)-②,(2)-③, (2)-⑤	
第15回	音楽表現活動に関する模擬保育の振り返り 実践後のふりかえり、課題ファイルを作成させる。	(1)-④,(2)-①,(2)-②, (2)-④,(2)-⑤	

授業計画	授業の内容	到達目標番号
定期試験	定期試験は実施しない	
	授業の内容	到達目標番号
第16回	オリエンテーション（授業のねらいと計画、評価等） 弾き歌いのための伴奏法について	(1)-①,(1)-⑤
第17回	器楽合奏の実践①	(1)-③,(1)-④,(1)-⑤
第18回	器楽合奏の実践②	(1)-③,(1)-④,(1)-⑤
第19回	器楽合奏の実践③	(1)-③,(1)-④,(1)-⑤
第20回	器楽合奏の実践④	(1)-③,(1)-④,(1)-⑤
第21回	音楽の基本要素であるリズムを身体的に体感するための実践としてのアンサンブル演習 アンサンブル①ボディパーカッション曲の読譜方法と実践	(1)-①,(1)-④,(1)-⑤, (2)-①
第22回	アンサンブル②ボディパーカッション曲のパート練習とリズム創作 弾き歌いのための伴奏法①ーコード伴奏による子どもの歌の弾き歌い実践 1	(1)-①,(1)-④,(1)-⑤, (2)-①
第23回	アンサンブル③ボディパーカッション曲の全体練習 弾き歌いのための伴奏法 2ーコード伴奏による子どもの歌の弾き歌い実践 2	(1)-①,(1)-④,(1)-⑤, (2)-①
第24回	アンサンブル④ボディパーカッション曲の発表 弾き歌いのための伴奏法③ー楽曲にふさわしい伴奏型	(1)-①,(1)-④,(1)-⑤, (2)-①,(2)-③
第25回	読譜力を高め、子どもの音楽表現活動につながる技術習得のための実践としての器楽合奏演習 器楽合奏の実践①ー合奏曲のパートの振り分けと読譜	(1)-①,(1)-②,(1)-③, (2)-①,(2)-②
第26回	器楽合奏の実践②ー各パート毎に読譜の確認とパート練習 弾き歌いのための伴奏法③ー移調とコード伴奏	(1)-①,(1)-②,(1)-③, (1)-④,(2)-①,(2)-②
第27回	器楽合奏の実践③ー全体練習	(1)-①,(1)-②,(1)-③, (1)-④,(2)-①,(2)-②, (2)-④
第28回	器楽合奏の実践④全体練習から見えてきた問題点を具体的に明らかにする。	(1)-①,(1)-②,(1)-③, (1)-④,(2)-①,(2)-②
第29回	合奏曲とアンサンブル曲の演奏発表と録画	(1)-②,(1)-③,(1)-④, (2)-①,(2)-②,(2)-③, (2)-⑤
第30回	演奏発表の振り返り：録画した演奏を鑑賞し、保育の現場での音楽的な表現活動における可能性について考える。	(1)-④,(2)-①,(2)-②, (2)-④,(2)-⑤
定期試験	定期試験は実施しない	